

ヤマクワガタ *Veronica japonensis* Makino

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、補正+1 (シカ食害)、総点 15。分布域の狭い温帯性植物で、愛知県はその南限にあたる。県内では生育地、個体数ともに極めて少なく、存続の基盤が脆弱である。

【形態】

多年生草本。茎は分枝し、根を出して広がり、先端は斜上して長さ 10~20cm になり、開出毛がある。葉は対生し、長さ 2~10mm の柄があり、葉身は広卵形、長さ 12~25mm、幅 9~20mm、先端はややとがり、基部は切形状の円形で、辺縁には 3~8 対の鋭鋸歯があり、両面に白毛がある。花期は 7~8 月、上部の葉腋から花序を出し、まばらに 3~8 個の花をつける。花冠はやや紅色を帯びた白色で 4 裂し、広く開いた皿形、直径約 8mm である。蒴果は菱形の扇形で、基部は広くさび形となり、長さ 3~4mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (芹沢 82900, 2008-6-7)。1 カ所に小群落がある。

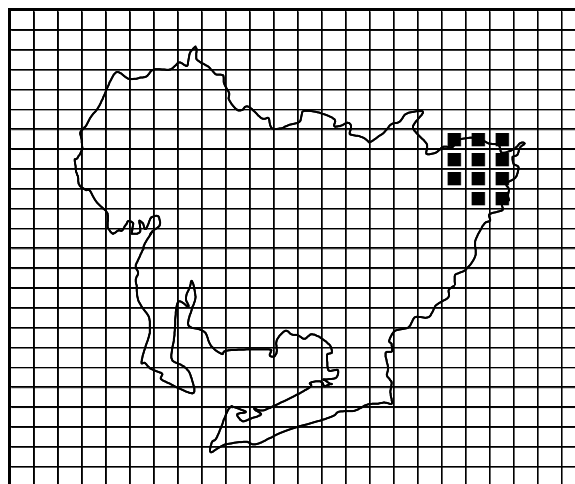
【国内の分布】

本州 (関東地方北部、中部地方中部)。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の林内に生育する。愛知県の生育地は、落葉広葉樹に覆われた沢沿いの湿地である。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

確認した範囲ではパッチ状の小群落が 3 つあった。しかし、ニホンジカによる食害が著しく、ほとんどの茎は先端がなくなっていた。生育地の森林が伐採されても容易に絶滅すると思われる。

【保全上の留意点】

個体数調整など、草食獣の増加に対する対策が必要である。本種の場合生育地が沢沿いなので、防護柵は設置しにくい。

【関連文献】

保草本 I p.144, 平草本 III p.112, 平新版 5 p.86, SOS 旧版 p.81.